陸海軍部大臣

にも

窮狀を陳情す

有力質薬家等十八名で、來る 十七日横濱入港のブエノスア イレス丸で來朝する、尚ほ同 船でアルゼンチンからも同談 一流新聞紙ラソンの特派配者 東京着の上は外務省をはじめ 東京着の上は外務省をはじめ 興業會社が合流して盛んな歌

首相に建言

蠶糸關係各團体愈よ起つ

取扱を必要とするので防潰に對しては國策上

恒久對策を樹立する

特普第一 二一十一 門門 五三五 十十 錢珍錢門

自公路

黑木養蠶組合長 般 智計強等省職を開催し、関 基礎に慎重審職したが、特に 岡田兼綱拓相より明年度豫算 では拓務省存置の使命競揮の 意め緊急已むなき經費のみを 計上したいが、就中拓務省充 度い旨提案し、午後三時散會整備民並に海外拓植事業間係の指導獎勵部外拓植事業指導

「東京國通」養蠶應急費三百 東國委出に不滿の蠶業組合息 大會長、加藤副會長は八日午 全國養蠶地の窮狀を述べ、反 全國養蠶地の窮默を述べ、反 物輸出組合 市場別拓使節 絹

を三名送出する等で外務省も之に援助する等で外務省も之に援助する。 て、そんな館

八年九

した、即ち全國豪蠶業組合聯 不 合會の黒木、加藤正副會長は 不 八日午前九時林陸相を訪問し で國防の礎石たるべき農村の 經濟力を度外視しては國防の に瀕する養蠶農村救済のため に瀕する養蠶農村救済のため に瀕する養蠶農村救済のため に瀕する養蠶農村救済のため に削する養蠶農村救済のため に削する養蠶農村救済のため に削する養工分を養蠶養

大戦省事務當局の豫算の如く 新規要求を六億週程度に削減 前職相の如く果して軍部と事 前職相の如く果して軍部と事 務當局とを抑へて裁斷を下し 移當局とを抑へて裁斷を下し

陶磁器賣止

組合外當業者も加入せん

養蠶對策の積極的援助を懸請る養蠶農村の實情を報告して

伯國から視察團

年度に比し左記の如く約一、 八%の増加を示してゐる(單位エーカー) 位エーカー) 中年 三元*400*600

慮して加入する模様である業擁護の上と國家的立場を考

農作物は大部分小麥、大麥、尙ほ右計畫により栽培される

甜菜である

まづ続州の

満な豫算編成

申合せ 次官會議

【東京関通】ブラジル日本移 民制限の新憲法が實施されて 最近の各般の事情を観察にや つて來ることとなつた、一行 の團長は先年日本に來たこと のあるカルネイロ、サントス 博士で團員中には元リオデジ

付けが本年度植

拓務十年度豫算

緊急のも

0

ゝみ計上

二%弱增加

□ て終了したが、その植付而積 | 腦部出席の下に昭和十年度 | る播種計畫は、六月五日を以 | 午前十時岡田兼任拓柏以下首 | 本天図通』 営地關係筋入電 | ・ プーコー 官より來年度豫算編成には從院かれ原司法、添田文部兩次官會議は正午より首相官邸で官會議は正午より首相官邸で **東角各省の分取り主義に** て午後二時散

公正會は脱退 議員は僻ね

比島も全般的

ンボー

現行税率は從費税三割乃至四割の至それ以上に高率となる複様である 【東京國通】中島男は公正會 よりの政界淨化の建前から執 った非公式養處勸告に對し、 八日同會の役員を止め、公正 會脫退の申出をなしたが、無 罪を確信し議員の辭任はせぬ み心であると 中島男の主張

ピンでは近く輸入税を全散的 同商會入電によればフイリッ

上げんとする空氣が濃厚で日上げんとする空氣が濃厚で日

輸入税引上斷行か

を続つて反對の整點々たるも 原廳を訪問せしめ意見を質し たるに

出席、闕東州萍果の日本輸入 禁止解除方陳情に関し協議し がおは當地生産業者を胚迫 するのみならず、日滿經濟の するのみならず、日滿經濟の

ラヂ

オ 島で

電球

瀋海沿線農作物 二割程度の 思能にの響波

の關稅引上

(日

は政府が十一保者間に一大波紋を投じ省令を初いてある。 れた農林省令によつて闕東州なつてある。 れた農林省令によつて闕東州なつてある。 た事は當地業者を始め一般關州の新規要求。 産薬果の對日輸出が禁止され

後三時商議理事會を開催、高南つて邁進せられたいたの希望であつた爲め同日午との希望であつた爲め同日午

尚日本商譲聯合會に對して援 拓務大臣、農林大臣宛輸入禁 上の即時解除方を陳情した、

中電燈、セメント、玩具の陽の場合によれば戯に綿織物の輸入割常をみたセイロ総ののでは更にラデオ電球、懐

助方を要請するところあつ

税を引上げる模様である中電燈、セメント、玩具の關

田會頭、月島、爪谷兩副会後三時商議理事會を開催、

解除運動

本應としても最善の方法を

百

と地方委員會議長 歴代地方事務所長

新京

百余年の歴史を辿りて

はとる公

地方委員

上信翁氏、石井成一氏、花井 が、大正十二年の二回目から 氏権岡茂氏、荒木章氏の十二 られるや同時に指名制度も改 西過第一 選擧は同年執行された、第一 回の議長は所長がこれを兼ね たが大正十二年の二回目から 【吉林國通】第二回農作物收 復職想の基礎となるべき大暑 作况季報は各關係個所に於て 實地踏査の結果を蒐集しつつ あるが、審海沿線及ひ背地の 作况季報の大要左の如し 「電池温は例年に大差なき を失し雑草の繁茂するもの を失し雑草の繁茂するもの を失し雑草の繁茂するもの を失し雑草の繁茂するもの を失し雑草の繁茂するもの を失し雑草の繁茂するもの を失し雑草の繁茂するもの て、日本軍と あるものから のだ。目的領 モスコーへ行つて松片山港の二代

版などに、日 の影響版のよ と怒鳴った たいのにから連れたあるものの触 を地のにから連れたあるものの触 耳を降った。

ムなり初代の議長が香取仙英

にщられたが、 か、それを目制した。 人間になったもんだ

松づき一つに分けて、機介になら

「まったく、自分であるはれた」

きは全滅に瀕し、高梁作の如害蟲の強中著しく栗作の如

万至四分作 生色あっ状 の を の の の の の に 抵

「この館を扱ってくれたまへ」

本店

最話五六二九

「作夜、君の家といふ除合で、 五萬間置つてきて へ。」 銀代は、親を思ひ、妻子を 思ふ情絶に動かされて して、君の云ふとほり責任をもつ 脱さへ分つたら、何人にも必然に 是川は、窓助して、一 分らんではないか、住

が、手の切れさっな百畳砂壁を百一して、腕側の下で、獣質してるた 領中から、紙片を取出すと、 これが観論と妻子の住所だ。

ピンから松花江をわたつて、『常識的連絡をとつてゆく、へ そこで、僕の入露について一

こ一覧職、君に安持をして、料かいだ、こゝに製命に一覧職、妻子のみの上だる程、お賦 既設電話月賦販賣電話 賣 買 金融電話用達部電話用達部

男や

もめ

の巖さん

部域へ投じてしまふ

日本橋通中家内 日本橋通中家内 電話三へ五二番 あんま

小學軍大 人生人人 二十錢 四十錢

奇座

勸業債券 電話賣買 香話五四四一番 融

ママッサん

3 ま 灸

新京日之出町一ノナ大 翻譯……文章 立案 昭和洋行

淺草療院

景話四七九六番

端書で御申込み下されば… …直に配達致します 乳

明鮮 平經理部 賞 伏受領帝國發明協會有功賞受領 蒙各界御指定御採用 新しい品質第一主義の 質成明ニアサニ 繁語ニロニ書宮崎組新京出張所



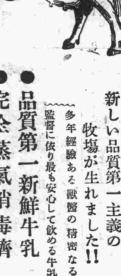
ないとかいふ話だつた。また、医のが地下に潜つて以来、その筋の追りのが地下に潜つて以来、その筋の追り ないとかいふ話だつた。また、医会をわづらつて、その日も嫁々食へ派

を付きに開いである離点を料字。 だつた。 関介は、是間と、関まった一窓 関介は、是間と、関まった一窓 で表所されで行った。 『入業するつて君はぶぶが、ど 『古林舎が松峰だつたら?』 にあるソ隣隣境のボクラニーチナ らそれでいくんだ へ殴って、吉林省側 は。どこから出るの ある

簡易宿泊所 城內東四馬路廿八 公益旅舍 高級

家屋 住宅 電風 大四番 光教會前 一番 一條通五四

山花志新高路岡賀婁田 義菊靖四浩 人子郎郎吉



完会蒸氣消毒濟 新京西三道街五一 一合五錢



大同牧





宗

洋帳簿 各種製本等門 三菱町三八九 一三 省堂製本所

×××××電話四八八五番 慶雁看護婦會 女中 炭位迄 炭位迄 炭の迄 大用廿五歳より卅 十一(普通學校前)×
村一(普通學校前)×

.保管確實

場所三笠町演藝館

大好評 迷信を排し科學に立脚した の止むなく日のべ 運命は 一時一刻を争ふため止むなく日のべ 運命は 一時一刻を争ふる新しき人相學

流質品安膏

祝町三十月六日

博多屋

先つは御誇御挨拶申上げますとのは御誇御にない、開業致す事になり私事杏林堂醫院へ職中は一方ならぬ私事杏林堂醫院へ職中は一方ならぬ私事を知識を必要を必要を表している。

ましたから何卒宜敷御願申上徙く御厚情御引立に預り厚く御禮申上げます申上げます

敬

新京説町一丁目電山川〇川書を乞ぶ面會日通知すを問ず希望者履歴書絵附 幕集華看護婦 六数五七〇五番 電三三〇二番

析尾新聞 東京版)朝日新聞 朝皇社 朝皇社 明日社 明日社 明日新聞

往宅診診

随時お需に應ず 午前八時より二時まで

吉野町一丁目十一番

が、梅ヶ枝町三丁目六 ・梅ヶ枝町三丁目六十大間あり 特別廣告 **第二三二四番** 東二條通廿一

小内 兒 科

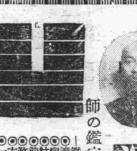
堂

電話五五一一番・脇・サート

一女性をどう導いた問道に立つた時、運の性格をもつ二女性の性格をもつ二女性のはな隆子こうがいる。

下加茂 特作品 高美ひと哀愁の繪

な場が生れました!! 多年経験ある獣蟹の精密なる!



東四七七〇番吉野町一丁目 みどり茶園 の御用命は!!

鑑

(=)

新規要求二億八千五百萬圓 海 餘萬圓

六億九千六百萬圓で此の外に物價騰貴 による增額並に爲替差損 の一千九百萬要し新規要求だけ 二億八千五百萬圓で旣定經費 の四億二千萬圓を加算すれば一次補充計畫の內十年度中に完成する新艦船維持費、主力艦改裝費等に多額を(東京國通)海軍豫算は第二次補充計畫による補助艦艇建造費の年度割增加、第 圓を加へれば海軍要求の總額は實に七億一千四百萬圓に達する譯である

注目さる

D

成行

支那歐米派の巨頭

依然他力本願

青島に會し外交策を協議

と確開する

失墜せる親歐米派政客の地位よつて日本牽制を置り同時に

長城弘

設關

4月中旬

か

那自体に危険傷まる他力本願を確保せんとし結果に於て支

を一歩も出でないものである

北平において

に長城各口の設闘一院務司張永年氏は

年度公費雜

隊算は

圓要求

福州の人心野恐、 「東京國通」八日福州宇佐美 「東京國通」八日福州宇佐美 を拉致したる上食料、食鹽を を拉致したる上食料、食鹽を を拉致したる上食料、食鹽を を放致したる上食料、食鹽を を放致したる上食料、食鹽を を放致したる上食料、食鹽を を放致した。 下であるが米盤サクラメント號 一個保護のため移動したが福州 の人心は安靜を織けて居る

▲京都第一商業

東京本第一日

・ 本京都第一日

・ 本京本院

・ 本京本院

・ 中前六時三十分

・ 会

・ 中前六時三十分

・ 会

・ 市六時三十分

・ 会

・ 市六時三十分

・ 会

・ 本京本院

・ 一商業

・ 本京本院

・ 一商業

・ 本名

各

地市場

億を突破の 海軍大豫算

日十八大老 4 7 四

の充實を期すべく過股來豫算 ってもこの點に立脚し諸計畫 ってもこの點に立脚し諸計畫 ってもこの點に立脚し諸計畫 就き村上計理局長の手許に於省議に於て决定した豫算案に 一、航空瞭増設並ひに編成替へに伴ふ維持資 せる顯逐艦の代艦建造)

額の内容は次の如くである等々である、十年度の豫算總 (單位千圓)

て鋭意計數の整理に努めで居 たところ八日漸く完了したの で九日大角海相の决裁を經た 上、大職省に右昭和十年度豫 り概算書を提出する運ひとな つた、而して明年度豫りて居

賞による増額要求を加算し 之に爲替差損金及び物價騰

六百萬圓に達

上るが明年度豫算の特色は

第一次補充計畫による船 あるので之等新艦船の

もので資材整備費を含めて大 算と恒例の新規要求を合した 原京國通】十日迄に提出の

費、兵備改善費等の新規要求機で尚滿州事件費、防空施設

萬圓見當と觀られて居るを合計すれば總額は五億五千

義及ひ申合せ趣旨を熟知せ

斷じて斯かる誤認

新藏相と

折衝が見もの

の内容は新規要求とて全然な二十六 萬圓の 増加でありそ

毎年十二月で

【吉林國通】駐吉第○○縁村田部隊では今回拉賓沿線掃藻に當り石頭河附近の鬱闘に於て名譽の職死を遂げた故曹長て名譽の職死を遂げた故曹長の職所を遂げた故曹長の職所を強いため、

クア ス リイボイ | ステ | ム トト

120

慰靈祭

調 葛 銀 五 泡 雪 布 頭 雪

101%

吉林兩勇士の

ある

宇豫第五十四萬圓に上較して 算八十萬四千圓で、本年度次

圓

見當

で開かれたが十年度の要求概で開かれたが十年度の要求概略和十年度へ費譲算に九日

が、 が、 なが、 なが、 なが、 は一分後本

に申請の結果は右に申請の結果は右 に申請の結果は右 大、七十萬圓程度 のではないかと見 のではないかと見

間及ひ東京札幌緑等の航空路一主義に標榜して明年度豫算に於ても既報の如く内地臺灣に於ても既報の如く内地臺灣

度は背信行為だ』と非難せる 総定に民政側から『政友の態 が三時より總称會を開き政策

協議の結果政策協定の根本

四圓が簡易宿泊所擴張の結果に、社會事業費一萬八百六十七圓が二萬八千九百四十五圓

の將軍はスマト りに新京に歸(りに新京に歸(

間では、 で官小林少將は九 で官小林少將は九 では、今日

イシャッの背廣でその互軀を

の第一線に立つ筈である

その日く

滿機關

の改革で

民間航空整備擴充案

の實を擧げ度いと希望して趣旨に則り一日も早く協定政友としては本協定の精神

神垣 判事 着京 元、一五事件民間側係判事として令名を馳せた東京地方裁判所判事神垣秀六氏は滿洲に於ける思想狀況神察のため入日午後七時三十分蔣列車で入京した

空中爆撃で共産軍は一時その【福州八日發國通】中央軍の

るべき軍縮會議

日英米同數量を要求

海軍部司令官小林少將歸京談

田午後一時五十五分來京 一日午後一時五十五分來京 一日午後一時五十五分來京 一日午後一時五十五分聯京同日午後 一日午後一時五十五分聯京同日午後 一日午後四時四十分歸京同日午後 一日午後四時四十分歸京同日午後 一日午後四時二十五分歸京同日午後 一日午後四時二十五分歸京哈市 一日午後四時二十五分歸京哈市 一日午後四時二十五分歸京哈市 一日午後四時二十五分歸京哈市 一日午後四時二十五分歸京哈市 一日午後四時三十分發南行 一日午後四時三十分發南行 一日午後四時三十分發南行 一日午後四時三十分發南行 一日午後四時三十分發南行 一日午後四時三十分發南行 一日午後四時三十分發南行 一日午後四時三十分至南行 一日午後四時二十分發南行 一日午後四時三十分至南行 一日午後四時二十分至南行 一日午後四時二十分至南行 一日午後四時二十分一日午後四時 一日午後四時二十分一日午後四時

盛んに掠奪す

於て慰靈祭を兼ねて告別式を三時より北大營の同隊營庭に

兩勇士のため

來る十二日午後

背信呼ばはり

政友反對

挨拶に來社

八十圓が二十萬二千五百二十のみで、衛生費十萬九千六百 地の發展膨脹による自然増 內 譯 10.40 其他

一、補助艦艇建造費追 一、艦船部隊定員增 一、新艦船維持費

【南京八日設戦通】歐米派の 三氏は先般來避者に名を籍 り青島に會合、今後の外交對 策に就き協議を重ねつゝあつ たが、この程大体の方針につ たが、この程大体の方針につ に赴き蔣介石氏に建議するに 决した、建議の内容は

列國の在支勢力の均等を

として列國の在支勢力伸張にの三項を骨子として居り依然の三項を骨子として居り依然大原則を再建する 門戸開放、領土保全の二

著しい附屬地發展の結果

委員會で審

在外使臣と本省 郭泰祺氏 三氏決定

海運

問題の討議に

日本も同意

て東京國通)廣田外相官邸で開 を平和裡に打開するため最近 を平和裡に打開するため最近 を平和裡に打開するため最近 で、栗原新調査部長の五氏と 電光次官以下外務首腦部との 在外使臣本省の聯合會議を九 (上海八日愛國通) 来る九月 ・金門四の三氏と决定、夫 ・金門四の三氏と决定、夫 ・金門四の三氏と决定、夫 ・金門四の三氏と決定、夫

すること

回題を討議するも の面目が蹂躙され 埋不盡なものでな

長時間長訪問長時間

回訓到着

再ひ糸口がつくのではないかる事で此邊より會議の進展ものが交換的に陶磁器問題を譲

の意味に傾いて

代表は九日午前十一時ランネ

事務開始の準備中であつたが 本月中旬には設闕影ご了の見込 である、なほ設闕敷は十一ケ 討伐軍水口

新藤安した、海運問題に對し 別一時問懇談の後午後一時過 別一時問懇談の後午後一時過 が一時問懇談の後午後一時過

會議漸次進展せん フト委員長を訪問に決定した た」めと観られる、主要問題 に、のと観られる、主要問題 は海運問題に在ると解され、 九日の會議准行氣運は更に進 むるのと観測される 日蘭海運問題で

蘭公使、外相

ペパタピア人日 後七時から大木村兩代表は午後七時から大下村兩代表は午後七時から大阪商船スラバヤ支店大野支店長、石原汽船を代表する南洋を車中田電役南洋郵船々長等を招き海洋問題の事情を聴取ると述げた 事情懇談

を見出す事は出来なかつた を見出す事は出来なかつた 關係者を招致 日本代表海運

女給數名募集

申込所新京電話二七〇六番 吉林第 カフヱー

流

ウララ

▲小林少將(駐滿海軍部司令官)ル日午前七特着大司を官)ル日午前七特着大司から 連から連から 中山課長(陽東應商工課)同上 ◆森島守八氏(哈市總領事館)

今宇佐美勝夫氏、滿洲

▲板垣少將〈軍政部最高顧問〉 國顧問〉同上

解雇 廣告 が大きりが、大きない。

募集(食道樂女中さん) 新規開業 新規開業 本木

大平旅館

館高

御希望の方は至急左記へ御來談を乞ふ詳細は面談の上 新京目拔の場所下宿營業に最適歸図に付き格安譲り度し

一條橋詰に輝 の銀麗

11年2000

聞

團長に

習野騎兵第二旅團長よ 着列車で開東軍正副会

金勅使御沙汰を傳達



章級の 富川長野線、大阪島取松工線 等の新線の外に南洋及ひ北鮮 への関防線の豫算を計上して で現を期でる事になつたが床 大渡相は現在の民間飛行の振 はざる 版本理由を検討し、日 本航空輸送會社の大改革を要 求したので、航空県ではこの 源相の意を休し急遽來る十四 ではこので、航空県ではこの が、100円のではこの で、100円のではこの で、100円のではこの ではこので、100円のではこの ではこので、100円のではこの ではこので、100円のではこの ではこので、100円のではこの ではこので、100円のではこの ではこので、100円のではこのではこのでは、100円のではこのでは、100円の

は なった、而して同委員會で考 を本省に開會して根本國策の を本省に開會して根本國策の を本省に開會して根本國策の 聞されるものは、

一再開一であり、更に東 腸の改正に就て左の如く語る 関のため當地に來た林睦相は 関のため當地に來た林睦相は

称を集めた

参事官、書記を置く必要なし 林陸相は語るこ

拓務、陸軍の三省間に進められてゐるが何れも夫々の立場に依つて內容を異にし外務案は在滿機關を外務省を中心に動かす様に 単んとし陸軍 | 案は國策の見地から國務として動かさう してゐる、然し滿洲國の和理大臣の監督下に置かんとし陸軍は練 野に外務省は外務大臣の監 **線である、即ち全槽機關に**

立國であるが我國は日滿議立國であるが我國は日滿議立國であるが我國は日滿議立國であるが我國は日滿議立國であるがら他の列國に對する大使館の制度を取り强いて多事官、鬱部等を置く様な必要はないと思はれる、從必要はないと思はれる、從必要はないと思ばれる、從必要はないと思ばれる、從必要はないと思ばれる、從必要はないと思ばれる、從必要はないと思ばれる。 あるが外数 のける必要 とする事を 特は駐補全権大使 して滿洲國は獨

一詮衡 と思ふ、在補機關改革は何 と思ふ、在補機關改革は何 ないが可及的速かに改革す ないが可及的速かに改革す その人事の でなく廣く天で と、その軍縮曾議の打合せ と、その軍縮曾議の打合せ と、その軍縮曾議の打合せ と、その軍縮曾議の結果が 協中央部も私の意見と全く 同じであつたことは愉快だ ワシントン條約の際乗は勿 論本年中に行ふ、一九三五 六年の危機と言はれる來年 の會議には日本は總噸数主 のの意識には日本は總噸数主 があり、 はない、日本の腹は既に聯 はない、日本の腹は既に聯 はない、日本の腹は既に聯 はない、日本の腹は既に聯

市場會社の移轉問題で附近商 が健重に

切に速に平癒を祈る

菱刈大使病む、酷熱襲來の折

10片に分配 11片0分0 11片0分0

ふたもの

明、傳染病とはソ聯よくもいソ聯國境の毒ガス演習事實判

▲銀塊及爲替

民しばし忍ぶべきの秋

國

陸軍五億五千萬

我梅軍明年度維算七億一千萬

第一 約に立つ (吉林関通) 吉林省各地風配 場日人軍官候補生五十名は愈 中央訓練處を出て十一日午 することになつた、吉林敦導 人軍官

▲ 電化フセミョン氏(ソ聯連商部員) 《日午後七時三十分費入事へ 人日午後七時三十分費四平 街から 往來

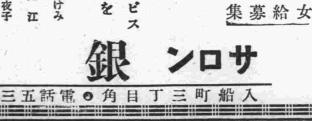
百里至三里 和仙仙仙仙 三路公夫交遣

現一二十九八袋 有月月月月月 物學限級限級限級 大 士十九八現 | 古月月月 | 月月月月月 | 日月月月月 | 日月月月月 | 日日日日 | 日日日日日 | 日日日日 | 日日日 | 日日日日 | 日日日 | 日日 | 日日日 | 日日 | 日日日 | 日日 | 日日日 | 日日 | 日日日 | 日日 | 日日日 | 日日日 | 日日日 | 日日日 | 日日 |

> 光江 小夜子

木 是非御立寄り 粗末なき

でま時二後午 を F,



亦痢に襲は 小宮山衛戍病院長以下枕頭に 將昨

日

軍司令官菱刈大將は八日朝赤痢に犯され体溫最高三十九度、脈搏九十に昇り 態の模様である、なほ本型菌であれば危険性多く概あて有毒のものであるが異型Y型並にF型は危険 性も 薄いもの司令官の罹病した赤痢菌は本形菌でなく異型Y型であるため輕症のものと見られてゐるご當 分靜 養を必要とする容 であつて健康人なれば大抵三、四日で恢復するものであるといはれてゐる り容態はかなり良好に向ひ、体温三十七度、脈搏八十に下降したので側近者一同はほつとしてゐる、九日朝までの便通十四回で、老體のことゝて憂慮されてゐたが、九日朝に至 老體のこと」て憂慮されてゐたが、九日朝に至

經過は比較的よ

梶井軍醫部長 病狀に就いて語る

同九時過ぎ盛會裡に散會した問題につき議論の花を咲かせ

墜死

邦人電工

日中月八年九和



京

の水害のため倒れた吉林送電 吉(原籍年齡不明)氏は過日 下の水害のため倒れた吉林送電

満親善精神を

新京市場會社

日

新

附近商人連大恐慌を來し

移轉か?

に決定した、右執筆者は學科助讀本として使用されること

やり十一日各省に訓令を發す 馬疫豫防法を制定公布すること」なつてゐるが公布をみる までこれが確防を完全にする

對策に就き協議中

の手で整理し統計並に資料の 分擔して脱稿の上委員二十名擔任教諭八十九名がそれぞれ

全米新聞記者

近~満洲

期したもので、

先輩の碑前に 若人の意氣昂る

た吉野町通りの店舗借

る吉野町通りの方を二階建て 今年の春だつたか市場會社が

るや否やもだいまれると し反對氣勢をあげたので ぬ情勢に至つた、然るには一時これを見合せねば 昭和十一年解氷期

場質社の吉野町通り店舗改築 附近商人の間に市

膨脹しつゝある市の中央市場を取潰す前提だ、西

○姿の済むまでの間バラックに店舗を繋ぎれては立つ潮が

の家賃を拂つて來て、漸く近れの味代に耐へしのんで割尚れる人々に下村談をもたかけたところ、それは困る不況時代に耐へしのんで割尚れる。

菱刈司令官學徒研究團招待

田代中將謝電

満洲産業産發學徒研究團を引 率して東た各大學専門學校の 等して東た各大學専門學校の 等して東た各大學専門學校の

新聞東憲兵司令官出い中將が 安東通過に際しみ京事務所長 あて一般市民へ左の謝電を寄

附左の如き依頼曹状があつた より菱刈全棚大使宛八月三日 日本新開協會々長清浦奎吾伯

視察に

板垣少將

夜奉天着

八儿

四百七十頁あり、ひとり中等 選州書 眞い挿入され紙数は 関補書 眞い挿入され紙数は 理科、政治、社會、交通、經 學校生徒をして滿洲に關す

なる貢献を與ふるものとして 添せしめ民族興隆の機運に大 窓世との民族興隆の機運に大 代司令官

その他病毒傳播のおそれある

米各地の代表新聞社二十社 株各地の代表新聞社二十社

酷暑の候に御座候處愈御清

愈よ十二日

参觀を主催者側希望

傳へを乞ふ 田代中將 離滿に當り在京中の御窓情

宅へ泥棒

離滿挨拶電 6

1

意矢司令官に轉補せられ赴任 の途に上つた前陽東憲兵除司 令官田代中將から九日朝 古澤 艫領事宛左の謝電を寄せた 雌滿にあたり在身中の御懇 がを避謝す、市民各位によ ろしく御傳へを乞ふ コ

現大洋野金票 関帯野金票 現大洋野金票

THE SELECT

銀相場

11-0 財政部勝つ は七日午後五時五十分より筋 京商業學校グラウンドで開始 されたが結局ニーーCで財政 であれたが結局ニーーCで財政 台灣鐵 道庭球部

一日來征

【東京國通】ハーバード大學 事品なつたが開始時間は何れ ・一大日野帝大殿を最初に九 ・一大日野帝大殿を最初に九 ・一大日野帝大殿を最初に九 ・一大日野帝大殿を最初に九 ・一大日野帝大殿を最初に九 ・一大日野帝大殿を ・一大日野帝大殿を ・一大日野帝大殿を ・一大日野帝大殿を ・一大日野帝大殿を ・一大日野帝大殿を ・一大日野帝大殿を ・一大日野東京 ・一大日野帝大殿を ・一大日野帝大殿 ・一大日本田 ・一大日野帝大殿 ・一大日本田 ・一大田 ・一大田

大學野球團 ル決る

ユ

計
を
野
に
第
五
に 馬五 忠 繁 天鬼慶吾聽一

۴ 九月 對學是大二回聯 對學人二回職 對明大 一回職 數明大

ム戦 日本

重引建

築 越 荷 造

運 洲 運輸公司

電話二 四丁 七 二月支 古

白雲昌なること自白した時建浦厳重取號べの結果右は時は一個大学の 杏花村 の御賛同を

特 命 全 權 大 使

茶浦

奎吾

の限りますまい

とにならない

0

線の復鶴作楽の際八日午後四 電會社で目下死体を捜査中な 電會社で目下死体を捜査中な

集金橫領犯

二人組強盜 地觀察後約 後以書中右御依賴 東京は出来得るか 大節は出来得るか 大節は出来得るか 大節は出来得るか 大節は出来得るか 大節は出来得るか 大節は出来得るか

昭和九年八 新開協會會長

からこれを使用すること」な がかねて工事中であつた観覧 がかねて工事中であつた観覧 がかねて工事中であつた観覧

立賽馬場の工事竣工

ながら見物もでき勝馬県、指 を票の購買も大いに混雑を緩 彩票の購買も大いに混雑を緩 彩票の講買も大いに混雑を緩 が票の講面で従来の不便を一掃され ることとなつた、なは同賽馬 出の秋季第一次賽馬は本月十 一、十二、十八、十九、二十 日間閉催され てゐるので大いに前人氣をよ

布一個を自宅前に遺失した までの間に朝鮮銀に券百圓紙 幣二枚十圓紙幣四枚小錢取り まで五圓在中の茶色二ッ折財 が出版での間に朝鮮銀に券百圓紙 の間に朝鮮銀に券百圓紙

登極記念競馬

一日成績

四名ごも真症 ト患者 部を発展へ居出たのでは、一部服務用、他は年齢服色不明

清掃場店開き

人力

車

台を洗ふのに約十五分間

で街も綺麗に

(二) 四處八〇錢 (二) 四處八〇錢 (二) 四處八〇錢 (二) 四處八〇錢 (三) 六國七〇錢 (三) 十七砂(二) 奔花(騎手高尾) 三十七秒(二) 春花(騎手高尾) 三十七秒(二) 春花(騎手高尾) 三十七秒(二) 秦水 (九) 春花(騎手高尾) 三十七秒(二) 秦吹(二) 一次 (1) 秦水 (1)

清潔な馬車、

何では更に一ヶ所を設置するることが出来るわけで成績如ので今後は氣持のよい車に乘 分、一日四百合を洗掃出来る式で、一合を洗ふのに約十五式で、一合を洗ふのに約十五 で膨よ九日か 竣工、試験の 人力車を市民に ・、かねて附屬地 ・、かねて附屬地 の結果は良好なの から開場ずること がら開場ずること

何では更に一 官幣社 東郷神社は を理想に

依蘭城下

新學期からテキストを通じ

全滿中等教育會案

【東京國通】故東郷元帥の記念の爲めの東郷神社は將來官 簡所だけは决定し、東京のは 簡所だけは决定し、東京のは 標である、記念知は東京に建 様である、記念知は東京に建 を力を一つに集中する由であ 東京、鹿兒鳥だけ 〇センチの増水を續け遂に依 職城下に迫り同地日滿は民は 一致協力して水と戰ひつゝあ り、而しその對策に處する適 當な専門家なく材料不足、し がも先年の水災で都市の疲弊 かる光年の水災で都市の疲弊 開城下に迫り同地日滿る民は○センチの増水を續け遂に依めるが同江は松花江と共に二 昇を始めハルビンを脅かし續きで牡丹江の水量は再び 依願地方の天候は長らく

態度を决定したが 引織さ市 議員大曽を開催依職總分會の 救済方を各關係當局に電

れは全くの虚判だとの大抗議の婚約なつた旨を報じたがその婚約なつた旨を報じたがそれになった。 学 です、其落ちんこと北大營の如きものありと思ふる件しそるところによれば「うちの妹 11十三(?)にもなるのに着ない、たとアメチョコが好きで實際こまり似いてゐます」と全これをもつてこれをみらに先づ目下の處ふみちやんとの交情を増さんにはアメチョコがとりもつ後に来るものを下メチョコがとりもつ縁か

救濟方を電請 の水害 延順天雨(生)日十(水)日 (土)日十(水)日 (土)日十(木)日 (土)日二十(木)日 七八九九 部樂俱馬賽京新

新学典一等 一四世國二〇錢 (里) 中四七國二〇錢 (中) 中四七國二〇錢 (中) 中四七國二〇錢 (中) 中四七國二〇錢 (中) 中國 (三) 北斗 配當(復)(一) 三頭一〇錢 (中) 中國 (二) 春日(三) 北斗 配當(復)(一) 三頭一〇錢 (中) 中國 (二) 春日(三) 中國 (三) 中國 (三) 中國 (一) 四國 (1) 三面 (1) 四國 (1) 三面 (1) 四國 (1) 三面 (1) 四國 (1) 三面 (1) 四國 (1) 四國

▼五七一六番

田中組現場詰所(開

(南鐵刀家山淨水場新築工事)

設

話

昭和九年八月一日 水水の四七二六番は從前の通りであります 新京羽衣町二丁 目二番地

組新京出張所

陸海軍鐵道省指定工

丸善礦油 和 會社 行

其グ床歴鐵車石 リ掃除費用油油油 他ス油油油油 店理代

電話三四六六番

材 料 運 運 搬搬

多少に不拘御電話大郷参上いたします弊店を御利用願ひます 支店店店 宫 朝 島 陽町 凌 河

御 禮 廣 告

辱~索致方店

所

地家屋賣却 ス 五 三丁 番目

問合セー 八所 電吉 話野 二町 Ξi. =

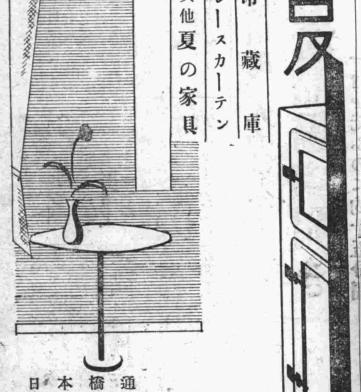
赤玉ポートト、
外ででは、
外ででは、
外ででは、
ができる。
のできる。
ができる。
のできる。
のでき 冷

酒界の王座

林公司 話四ハ七一番

設開通致しましたから何卒御利用御用命の程偏に御顧致します。 爨に羽衣町二ノ二に事務所移轉致し今般事務所及工事規場用電話左記番號の 話増設の 知 6 せ 通り二個増

電





御電話次第直子三参上電話三八四三番取次

●安 東

製

氷 株

式

會

社

謹

新世帯道具敷鉄屋商店 祝町三目新京子不中前

日曜祭日

近での御事 電ニ六六一支

電話三二九六番

理

想

的衛

生飲

料



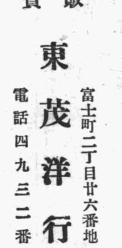
入船町ニー七

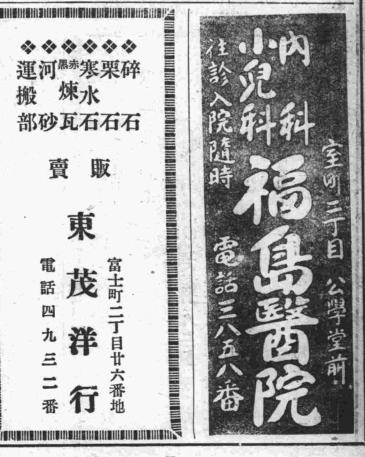


△鐵 △平浪板、洋釘、 △建築土工用諸金物 銀板、洋釘、針金 鐵工製品一式 製土工用諸金物 會祉 合名 土建金物商會競支店 本店 電話長三〇〇七番大連榮町二番地 五 五 六番



支 ②店理代 運河^{黑赤}寒栗碎 搬 煉水 部砂瓦石石石 販 賣 東





日十月八年九和昭

は大い

に期待されてゐる

回本

協議七時間に及ぶ

八日午後二時黒河クラ

杉 廣三郎 嘱託を解く

ボ

ンソ

ル記者

叉復越境

ル聯兵

四十一日目

營業課長參事

務整理委員會の擴張と黄フに 地方である廬山會議は非 が式に十日午前より開催され 先づ黄フの進言に基き華北政 地方である廬山會議は非 が式に十日午前より開催され に対する。 を対する。 が表記を終れる。 が表記を終れる。 はま が表記を終れる。 はま のである。 のでる。 のである。 ので。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 。

協議を進め之につれて自然新 憲法實施後の大總統就任問題 憲法實施後の大總統就任問題 東に障碍に對し豫め萬全の策 大倉に對する準備工作に就き を協議するものと観られる

學校卒業生

ぜれてゐる模様である

往來

■ 本安間安五郎氏〈東洋棉花株 日午後四時半發列車で家族 同伴新任地大連〈

川に於て頻發しつゝあるソ聯の不法射撃も當然終熄するものとして其の成果けば八月中に水路協定成立の見込みとある、とまれ會議終了によつて國境河前途全く樂觀されるに至った、ブラゴエチエンスクに在る滿洲國領事體員よりの報告によれば此の調子で行

により技術共同委員會の成立可能となり七日の本會議開催とまで漕ぎつけ會議の運命を左右するものとして難開視された技術的問題も滿ソ双

策動に着手を

を訪問し詳細に互つて親祭を最高失院、最高檢察廳、新京最高失院、最高檢察廳、新京最高、金融のののでは、

て逃走した爲め、未だ密輸剛しろ主犯岡本義男が風を喰つ

りせば……」といふ様な表情

廬山會議を利用

策を

練る

鄭國務總理の

送迎茶會

に努め日蘭會商を側面より成化せんとし外務省も之が助成

を、岩田が連絡あるは前記間と、岩田が自白せるところによると、岩田が連絡あるは前記間本のみで岡本を通じて岩田に本のみで岡本を通じて岩田に上ると、岩田が自白せるところによると、岩田が自白せるところによる

曾議終了で不法射撃當然終熄

成立か

その成果期待さる

村唐 定本 金告 便抵 所 特普第一 新京东日日新闻社 新京日日新闻社 十 河 榮 忠 人 本 勇 同 二十二 分分 行月月

撷取

甲板

吉川高會

たもので、我が中央氣象臺の にといふ好或績は實に世界に にといふ好或績は實に世界に にといふ好或績は實に世界に にといる好或績は實に世界に には、太平洋、ベーリング海 の気壓を綜合して作成する

ラチラさせ、半はムキ出っ の何と多き事か、短い服い の何と多き事か、短い服い の何と多き事か、短い服い 就いて女性の洋装に

會

讀店G聲 ∢ずらとは傷中▶ ・女の收入に

居るか、殆ど なる女性を目 は外面的にも余いの様な高價な洋

発性がどれだけの女性がどれだける、街通らか性がどれだけで、街通らかな性がどれだけで、街道らいできたりでは、街道らいでは、街道の女性がして、賞

日本風の純なる女性を選ぶだらう、恐らくケバケバした注めのモガを選ぶ者はないだらら、女としても自分の戀人してケバケバしたるモダンボーイを選ぶか又は男らしい日 はなくともいるだらう又どう本風な純なる男性を選ぶか云 やはり清らかなる 前者の様な者は

た」「あゝ君のアベックはある「僕のアベック何處へ行つる「僕のアベック何處へ行つる「僕のアベック何處へ行つ

でで、現今の青年達よ、 ・ したら一生華美な生活をする 洋装好きな女性を妻にすると を要する電大なる事の一だ、 を要する電大なる事の一だ、 一にも洋装、二にも洋装、三切る女性達よ余り進み過ぎない様にしなければいけない、 性幾萬の中に女性らしき女性 處變れば品變ると 新京に居住せるた

達に輝ける満洲の黎明が訪 に元の日本女性に パトラの様な女性の大群いがトゲがある……ク 「カラタチの花」では達は決して夢にだにも、 其の時こそ、彼女

にかへる………勝來の幸福た の主婦ともなる御身達は心す 心にかへる、日本人は日本人 味ではない、女性は女性の太

は略々豫想されて居るが、何當大物の不正荷主が介在する ※刀軍正改軍陸≫

啓

る方々は は大和魂を表徴する日本刀を愛する各位武士道精神を名刀にもと軍々刀及軍刀の外裝を迅速に宰仕致す事に相成りましたつきまし部開設致し妓に今年二月十五日內務省官報にて酸表されました新 致し玆に今年二月十五日内務省官報にて競表されました新陸候諸賢益々御清榮およろごひ申上げます想で鄭店儀今回刀劍 是非一度街來駕下さる緑御待ち申して居ります

軍刀中身調製部

三 白

本軍商會 五、刀 新京西公園前 劍 刀剣斜斜 品品 定

粗 之

建築事務

朝 觧 釜山、大邱、木浦、群山、仁川、平鎮、鎮南浦、元山、西 地 東京、大阪、大阪南區、神戸、下駅支店出張所及派出所

刻朝鮮銀行新京支店日本銀行 清津、

所、龍井村、岡們 ・ 本徳、錄節、四 ・ 一型話二三八九十番

映創 演劇科 豊 間 部

大學部 音美術科 夜 間 (呈送則細

學大合 專門部 V 入學藝術學 衡 九月五日(受付前日迄) 袁

V 缺詮 外國語學校 學 園 (新美術) 舍 東京本鄉區金助町二四 (其他各國語科・) 邦樂舞踊專修 每月發行 #

でである。 では、三千萬圓程度な では、三千萬圓程度な では、三千萬圓程度な では、三千萬圓程度な

大豆工業化試験中で非常な興く大連図通」目下中央試験場

前途を有望和

され

大豆油

備の便定無費繰上げ約 一、國防充實費中兵器其他整

「東京國通」陸電省十年度銀 滿洲事件費に昨年度より減少と東京國通」陸電省十年度銀 「新洲事件費に昨年度より減少と、 「東京國通」陸電省十年度銀 「新洲事件費に昨年度より減少と、 「東京國通」陸電省十年度銀 「新洲事件費に昨年度より減少と、 「「大阪工」」 「「大阪

110、000 110、000 三千萬圓程度で 知三億五千萬圓に達すべく殊 た六百萬圓を遙かに増加して 行六百萬圓を遙かに増加して 行六百萬圓を遙かに増加して 大豆工業化の研究を積々行つてあるがその一つである大豆 よりガソリンを製出する試験が がらしい製法による試験が がらしい製法による試験が がらしい製法による試験が がられてある、即ち従来は大 豆油に石灰又は苦土を加へて 大豆石灰又は大豆苦土の石絵

は たので製造高も約五十パーセ と大豆油にニッケル水素を入 り直に簡単にガソリンとピッ

常な成功を収

一三千萬圓程度

重大視される航空の擴充

観の豫想は左の紀では督促してなる。

で尚これに満州事件費一億五千萬圓、北海道拓殖費千三百萬圓等を計上すれば總數十億突破は不可避で財政强化を希望する百萬圓で財政强化を希望する「は不可、藤井蔵相としては斧は不可、藤井蔵相としては斧は不可、藤井蔵相としては斧を加へる外なかるべく國防なかかるべく國防を加へる外なかるべく國防

如るいれ

本會議は化日午前十時より黒 河クラブに於て開會、管鴻軍 メッテリッア 阿國代表以下双 方委員全部出席の下に午後五 時まで無慮七時間に亘り非公

本 工、協定文作成 工、協定文作成 の意見接近のため會議は何め で順調に進んだ、因に第二回 で正式會議は十日午後二時開會 でまった。

根して順調に渡み遂に本月七 は3、双方の誠意的態度により意見漸次接近を示し會議は が、双方の誠意的態度により意見漸次接近を示し會議は が、双方の誠意的態度によ

命鐵道部營柴課長兼務石原

重高

央氣象臺

同十一年國務院に鄭國務總理日午前十時三十分宮内府に参日午前十時三十分宮内府に参日午前十時三十分宮内府に参照のた後

を拉致

現兵出 原 階役身經籍 級

東の採用はなるで 東の採用はなるで 東の採用はなるで

海 東 兵 生 整 士 本 葉 整 士 本 葉 世 士 本 葉 世 士 本 葉

部重大抗議が

現兵出學原 階科身歷籍 級 監禁中北

ベン輩をわざわざ移入して見の認識もない古手官吏やルンの記さないふ▼滿洲に對して何ら

ところは日本内地から補充す

く滿洲現地の人材

工董計設

- (==**\$**==) -

前

工建

學樂

士士

田

今後の審議進行順序

谷省の新

規要求額

宝非常なものであらうと中央 が出來たら農作物の對策が講 が出來たら農作物の對策が講 が出來たら農作物の對策が講

度範囲の権限を與へる事に就 支付軍協議を行ふ等であるが 支持果次第にて或は十一日頃 ある、尚河北問題討議後目前 の内外の重要國政に次で十一

| された、ソ聯兵は右滿人につけるれた、ソ聯兵は一大時に越境し來れるソ聯兵数に たまュソ聯領ダウリヤに連行 たまュソ聯領ダウリヤに連行

を果さず結局 いの無學の を果さず結局の の無學の

局二日間に亘り張や無智のため目的の尋問を行つたが、車事政治思想經濟

制勢働に

は盾大抗議を發するものと觀

營口スタンダー ド石油倉庫に

この際吾々日本

泰司(廿四)

かでいつも問題の種を跨くれは從來の成績に徴しても

ないのは判りきつてゐる、こたところで、所詮モノになら

組合設立

相互に輸入

| 「塞天國通」九口早朝会口附 | 「上、「財」製工 | 大石油會社

來り滿人一名を射殺した 急 報により警察隊出動撃退中

> この要求總額八十萬閬、これ度の公費豫算が審議されたが のふの地方委員會で昭和十 的に一新する必必がある▼ のためぜひ現在の空氣を根本

蘭貿易對策

方面に於ける再二再四のソ境警察隊に設附して來た

月十二日に迫つた第五回全國一された、

務首腦

部會議開催

界に誇る成

億圓を突

結局藏相が斧鉞を加へ

表された 会議選連部長 会議選連部長 の議選部長 鐵

人事の决定を見、左の如く發化の結果鐵道部、鐵路總局の他の結果鐵道部、鐵路總局の 【大連図通】満鏡では九日 長参事 辭 令

宇佐美寬爾 宇佐美寬爾 羽田公司

可 であたが、何れも失敗に歸してるたが、何れも失敗に歸してあたが、何れも失敗に歸してあたが、何れも失敗に歸してあたが、何れも失敗に歸してあたが、何れも失敗に歸してあたが、何れも失敗に歸してあたが、何れも失敗に歸し 宝非常なものでまた。 「国の質績に依つて間違ひない自信を得たので、その第三 一に進められてゐたが、断に 一に他の質績に依つて間違ひない自信を得たので、その第三 回として八月と九月の豫都が

年に控へ北の國際政局に對處名實ともに國際聯盟脫退を明る實ともに國際聯盟脫退を明 更に外交工作を考究

|| 貫徹|| するために大い し帝國の根本方針を 栗原新調査部長の歸朝で 勝朝したので の基礎を固めて ろ八日新報査部 ろ八日新報査部

地方委員會

首者新京附屬地の舜展膨張に

豫算審議終る

二倍に當つてゐるが、しか費の本年度十萬圓程度が一 これなどは新京の現住者なら

はり本溪湖南方三里の地點興 はり本溪湖南方三里の地點興 を山中に埋藏して置いた十數 を山中に埋藏して置いた十數 でもんとしたが早やいづれかに はあるのは藁

見海せば四

もいへる▼そのほか

極めれば本社側でも、たるほもの、何とかしたいといふ

大な新設明である ケル水素を加へ加熱して得た然從來に代る新製法として偉 れば從來の加く大豆油にニッ然從來に代る新製法として偉 れば從來の加く大豆油にニッ かと言ばれ試験場では目下特製造率を示し從來の如くグリ のと言ばれ試験場では目下特製造率を示し從來の如くグリ のと言ばれ試験場では目下特 羽情報部長等 つゝあつたとこ すべき外交工作 命じ夫々報告を 東鄉歐亞 四通り、九日午後一時開會、出席委員は得丸融議長以下十二氏、昭和十年度公費豫算概以長長、三浦公費主任から原案が、各項目を追つの説明があり、各項目を追った。 され居り、西部に於ては名古一也とて關東組合成立の氣漢釀成 新京區地方委員會は夕刊既報

て職取するなど戦日間に亘つの衛生、消防吶隊長を招致したの間は 於ける慇親會に臨んだ 同午後七時から料亭開花に

外交方針を設

善處

錫山匪末路 お伽噺の黄 蔵品は藁、瀬戸

大連の砂料大密輸

光きに使つての大掛りな理國語」満鐡埠頭收入係

様東の風曇り雨模

特長られて仕舞ひあるのは蒙 や瀬戸のかけらばかりにロアングリとし部下に慰められ日 むなく密かに遼西に姿を消し 天気

月月日日氣天

(=)

工地拂下案内パン 新京進出を促進

日十月八年九府昭

▲第五十一列車(新京午前六 ・第五十二兩列車は一部左 の通り發着時刻が變更する の通り設着時刻が變更する

等の智見を廣め政治 經濟、產等の智見を廣め政治 經濟、產別と言いる一歩を大陸に印して以來旣 別しく出格人情を訪ぶて、我親しく出格人情を訪ぶて、我 あたり左の如き鏧明智を設 研究團は九日朝新泉出設に 満洲各地見學視祭中の學徒

滿洲產業建設學 林 毅陸

米國佛教代表として過數の太 日系米人十九名は目下滿州國 日系米人十九名は目下滿州國 十一日午後四時四十分濟列車 で入京一日滯在の上市中、建 設狀況を見學、十二日午後四 時三十分競列車で南行する事 となつた

合美術展覽會には日本側より る独定であるが東方繪書協會 幹事川合玉堂、小室翠雲、荒 木十畝、結城芸明、横山大和 渡邊晨畝の諸大家連は展覽會 終了後その出品を滿洲國皇帝 へ献上の希望で目下製作中で ある 出品を獻上 一勝者戰

登極記念競馬

第三日成績

番単)日午後四時死亡 一男氏。露月町二丁目 一男氏。露月町二丁目 では、一中央通り世四番

八月九日(水曜日)
八月九日(水曜日)
八月九日(水曜日)

安圖縣城

に迫る

(二) 夕張 二分三五秒四 (二) 玄海 (三) 玉鬼 (二) 玄海 (三) 玉鬼

レター等二十餘會社の代 理店として滿洲 國内に使用の一般自動車及部分品取揃

へ奉仕致可に付何卒格別の御眷顧相蒙り度御願勞々以紙上御挨拶申述まず

ンペアーリング、ハイヤツトローラーベヤーリング、デルコレミー、

ゼニカブ

イト合金、米國シ ンプリシツテー、ブラツク ホーク、カターカブレ ター、テムケ

ユ東京タイガータイヤチエン、加奈陀チャンピオンスパーグプラグ、 治店の

取扱品は東京安全自動車、米國クライスラー、

獨逸ロバ 店設置偏に皆樣の厚き御愛顧の程と御禮申上ます

店各位御引立に預り今日の盛業を得今回首都新京に支 自動車及部分品商として満洲進出古き歴史を関する幣

飛行機用品自動車並部分品目動 自動車並部分品

行機 用 車 修

明大新人軍

青島へ向ふ

(二) 北斗 (二) 北斗 (二) 北斗 (復) (一) (一) 三国五〇銭 (二) 三等 二三〇圓四〇銭 (三等 五七圓六〇銭 (一) 章 五十四 (一) 章 五十二分三三秒

(二)大群 (二)大群 (二)大群 (二)大群 (第一等) (二)大群 (第一等) (二) 五圓五(3) 五圓五(3) (3) 五圓五(3) (4) (4) (5) 第一等 二四三圓二(3) (5) 第一号 二分三(6) (6) 第一号 100 第三号 100 第三号 100 第三号 100 第三号 100 第三号 100 第三

三橋自動車商會

支店 奉天千年 品 四 五 〇 九 代田通リ三十六番地

米國クライスラー會社製機造ロバートボッシュ會社代理店務、州國總代理店 ファーゴ貨物自動車滿洲國總代理店

京

主 振替口座奉天一一六六番電話 五 六 一 二新京梅ヶ枝町三丁目十二

國洲

戦を夢想 泥田に喘ぐ姿や哀れ

和

で、 ソ聯の経済圏裡に包含せんと 辛辣なる魔手を振ひつゝあり 然るに其の政策は新疆に於 ける對外貿易を獨占し離るべ からざる經濟関係を設定し回 数徒を煽動して同徒の獨立國 を中華ソヴイエート政府との

「トルキスタン」地方に於て 概的である、新 麗即 ち支那 である、新 麗即 ち支那 であるが、田度を目 現の通りであるが、田度を目

+

四

彊進出

印度を目標に新

呼

3

挑戦化す態度

ソ聯 此の件は三一年ソ 無許可無税を以て新彊

に新羅省内に於て各商務機 する 為めソ聯の職員及國民する為めソ聯の職員及國民 の爲め工業、農業、電氣、

關所在地間の自由通行を許

めん事を基調とするものなり 装侵入の軍事的根據地たらし 要しる共産主義宣傳の土墨石 一分に看取し得る處

を中の零時から一時ごろにか を中の零時から一時ごろにか を中の零時から一時ごろにか 日滿各機關對抗の

在京日満各機関の研 硬式野球試入 十二日から四日間西 が、九日地を行ふべ 下に來る十二日

(本) 化喀什

に けてみごとに着飾った野雉イ エーチー 要春婦一 羽づム乗せ 派 い油燈を吹き消して馬車ニー ヤーは陶酔の夢に耽つてあや 長 ついて加藤保安主任は「もし であるから斷乎として處罰し なであるから斷乎として處罰し な であるから斷乎として處罰し な しげな行為に出てゐる ついて加藤保安主任は 本當とすれば捨て置け であるから斷乎として

四五丁目所見

ンドンから

不載一勝滿鐵地方部關係(A) 中前十時(B) 中後一時(C) 總務廳新廳舍對同舊廳舍

徒研究 發表

、 我等一同は 大なるを自覺 大なるを自覺

したく感謝

ルビンへ向ふ

午後四時

(十五日)

第三日(十六日)

山本、眞保等九名の選手達は山本、眞保等九名の選手達は山本、眞保等九名の選別が登はロンドン市である、同放送はロンドン市である。同放送はロンドン市のB・B、で放送局から英級派電小室で自断で受信分と歌作して日本の國際無陸を一飛げして日本の國際無電小室で信所で受信争ない。

午後四時

退京のステ ※の實狀をさぐつて我等の研 を果しで全関員一同無事婦國 を果しで全関員一同無事婦國 を果しで全関員一同無事婦國 が会につくを得たるは なる同情、援助の賜にして夷 心より感謝に堪へざる所であ 事を期すると共に 関し大いに貢献す 國の健實なる酸

勝戦を擧行するが入場無料 のの勝者。Dの勝者

都市對抗對球

制型

八幡勝つ

時二十分後)朝陽川發午後時三十分後)朝陽川發午後時二十分大上三峰濟午前一時二十分

●第五十二列車(新京午後四 時濟)上三峰設午後八時四 十分開山屯着午後九時三十 二分朝陽川着翌日午前零時 三十十

新京國防婦人會第

部内に設置 泰文元匪南下

事務所を軍司令

創立委員會

指導監督をうけるものである 事班内におき關東軍司令部の 所は當分の間關東軍司令部兵 振りには感心してゐる昔は第一聯隊に士官候補生とし第一聯隊に士官候補生とし第一聯隊に士官候補生としない。 瀬洲の1 人口となったが 製地だったが なしてゐる昔は 「本天國通」安岡縣を再三に 国つて襲撃し失敗に終つた泰 文元匪は最近吉林方面より南 下またまた安岡縣城襲撃を企 知吳義成匪と合流、大集團と なり縣城に包額体形で接近し つゝあり為に附近住民は人心 動揺し自衛圏の合流するも相 當あり日滿軍警戒と人心の鎖 匿につとめて居る

故鈴木上等兵

葬儀終る

新京國防婦人會第一回創立委 時から大和ホテルにおいて開 はされた、出席者は はされた、出席者は

本曹長、野村社會主事、小本曹長、野村社會主事、小湊伯・八名(小林大佐途中出席)

南嶺○○○縣第○○縣故陸軍中最近、市民多數の會葬者がある。市民多數の會葬者がある。 質が者があ 第三艦隊乘組員 窓に於ける日本にかける日本にかける日本にかける日本にかける日本の金米る 豫定

奉吉線に

B

四、新京における有利な事業でのほか参考事項として図れる参考事項として図れる

(世界地域へ一坪に付八圓程度) 市業地域(同三圓五十度)工業地域(同三圓五十度)工業地域(同三圓五十度)工業地域(同三圓五十度)

新京に於ける有

一、商店、右同一、商店、右同

建築期間

利な商賣
和な商賣
素物、選髪、古着など
素質、果物、選髪、古着など
素質、果物、選髪、古着など

本

小時着

急激な發展

で驚く

蓮沼少將着京感想

に建築を完了すること、但契約の日から滿二ケ年以内

計

畵につき

開東軍飛行第〇〇〇條附田尻 がこり がこり が九日午後四時三十 分ごろ〇〇機第百十號を操縦 演習飛行中機關部に故障を生 じ競馬場第三カーブ西方百五 十メートルの地點に不時着陸 した操縦者は負傷なく機体は した操縦者は負傷なく機体は

草地土地科長語る

前頭輪を少しく破損した

対 新任ハイラル騎兵○國長蓮沼 ・ 少將は赴任の途次、八日ハトで 東京、九日午前十一時軍司 ・ 令部で 記者團と會見・ 左の如

土地の拂下方法、價格、

座敷業者にとつても絶好な轉に見られてゐる、なほになっても絶好な轉

〕位

| では現在定期的に土地排下げを 対で土地排下げを行ふことを 対で土地排下げを行ふことを

一下業 ||に轉じたいと望

建築費

住宅、坪度り百八十圓

も多いので定期ではその機 會を失ずることが多い、それ故現實的にそのやうな人 達の希望に添ふためこんど のバンフレットを全國的に 配付することが出來て極め これによつて新京の現况を 知らせることが出來て極め て効果があると思ふ

土地拂下げを一面でもこれを機會に内容は雜設局一の公娼廢止方針のため遊廊方

十年を帰度とするといが假建築の存置期間はないが假建築の存置期間は

に満洲を認識させる

を選出する。 一点ので渡瀬南に設明がされてある。今回の計量の企岡すると 一点ので渡瀬者の中には來京を機に 土地の竇買契約を結んで彼等 の所工業の基礎を新京に設け たいと希望するが、これら の所工業の基礎を新京に設け たいと希望する者も相當ある が、事情を知らないため希望 いので渡瀬前に充分新京の事 情を認識せしめるといふにあ る、また一方最近内地では不 る、また一方最近内地では不 る、また一方最近内地では不

本の計画について建設局草地土地科長は語る 現在まで土地排下げは一定の時期に行ふのが原則となってゐたが、この方法によると申込期間が僅か一週間の為新京にゐるもの又は新の為新京にゐるもの以前

では、それに解氷期と同時に観察幽又は旅行者が激時に観察幽又は旅行者が激時に観察幽又は旅行者が激時に観察幽又は旅行者が激けして来京を機に新京に基本して来京を機に新京に基本をとして、それに解氷期と同います。

上三峰まで復舊

車し折返してゐたが復舊工事 第五十一列車は敦化までで停 京圖線では水害のためかねて

立派に生ひ立ちゆく満洲國 の姿を見て驚いた、日露戦 んでゐるのでただ急激な致 んでゐるのでただ急激な致

寢苦

街頭に春を賣る女ありけり

ランドに行つた 探験もある が横溢してゐる、北滿は寒 が横溢してゐる、北滿は寒 が横溢してゐる、北滿は寒 が横溢してゐる、北滿は寒 程は左の如く决定した十三日午前八時卅分変刈軍司令官を官邸に、八時五十五分より外交部に外交部大臣を夫々訪問、午前九時十五分より建設狀况を視察し午前十五分より國都建設局樓上より建設狀况を視察し午前九時卅分官內府に於て滿洲中時卅分官內府に於て滿洲中時卅分官內府に於て滿洲中時卅分官內府に於て滿洲中時卅分官內府に於て滿洲

名射殺さる

邦人一名滿人一 國際女子オ ンピツク

きのふ開催

耳鼻 病病病科科科科科科

隨意」

舍元醫院

初京八島通老松町(ダイヤ街) **答元行安** 組合員除名廣告

新京疊商同業組合幹事 玉

太

爲アルモノト認メ組合ハ本月八日臨時總會ヲ開キ决議ノ 右ハ新京疊商同業組合定款第十三條第二項ニ抵觸スル所 結果滿場一致ヲ以テ除名致候間此段及廣告候也

八月九日 新京疊 商

B

意義

(=)

はある。値の

生は本

匡

の直佛法にあり「明聖徳太子は五濁三災 物でもなければ唯心でもない。である萬象は物肉として見らるべき一面あるも、同時に感じ判り意識する一面ありて唯

△十六日漢洲國車へ終一個張

時報(滿語)時報(滿語)

祗園の茶店

3

として異説あるを聞かず自然温泉の亨樂は人生極致の贅澤 界は克く各地方に公平に配劑 銷夏漫錄

同

10 1116 1110

つと此處に居てい

と此處に居て、話しをぬすみ降清次郎は隣り 串敷を指差し。も

から聞き付け得られたので、もう 財と派の其後の容子が三人の際話 知りたいと配って居た将版内の

清水館が代つて

つて、返事せぬと

られ、何ひたを

最があると仰せら 万々、お彫を除け

「陸座数のお

Ĥ = =

思って居りましたのに

失過ではお坐り

方々、ちつと、

いだく、お待ち下さい。 お伺び申度を優が

肺結核の初期症狀

心すべき八つの型

おゆります故い

セ

此方へ膨を除けて來た主は神山

即が乗り

一面闘らなく、よし戸越しで

つて残たの

は寒烈勝肌の苦地とか稱してかしあるは所謂天地の恩か古來我滿洲は寂莫齋條の曠野とか或は欝林榛鉾の僻邊と立又 城を面する道路の中間南側 三里太子河上流の河畔に在 り一名海県湯と呼ばる 此の外未だ知られざる地點幾 があるべし地方開設者の慰安 車、人力車夫の 出 ▲二十二日外被一枚

多數品

五五五番組織告

に練山がどから三人を相手に口にはったのも気味懸かったし、そ

らる」ので、米級のやう思行さる

我等の主

川用で御坐りませる

景子線 璃 (東京より) (英 ニュー) (東京より) (本天より) (本子より) (本子より)

はお高や自分を消配でとらへる目

は既に

八各々その職分に盡しる数力となる、協心器

自他自重奮勵努力して永遠に自他自重奮勵努力して永遠に土各種民族同榮の此の一天地ちしか否順應したるか王道樂星したるは人定まつて天に勝くない。

前

届

に地樂勝

申品移送▲二十五日書籍 個馭者盛明武大經路警察 ブル河

辰野九紫

雛同醫圓漫ア字 刑 その 財 を 刑 その 財 を 対 数 一 数 す 手 主

同 八、三〇 時 大阪商大學長 大阪商大學長 河田 嗣郎大阪商大學長 河田 嗣郎大阪商大學長 河田 嗣郎大阪商大學長 河田 嗣郎大阪商大學長 河田 嗣郎 (東京より) 八、四五 ニュース (東京より) 九、三〇 演藝 (満語) 九、三〇 明 嬉野だっめ 三味線 等 古いまず (本こなど)

意味 独門 (4)時間 (未定) を が ながれ から夢はを呼んで質を取ら ある。 算を語るに過ぎない と考へたので せいそれ

這入って來た。 お春も清次郎? ゆるしドされ 見か上り、合の世子月を聞き、高いまだ何とも返解をせぬのに、機 衝立のかげから、吐方の磨敷へ

居たのでも 郎も既に介ち上つて どさげたまる只動か

しくして、言葉を りと、其處へすわ から二人を見

4率も満次郎も詮方なりをぶべつしたことに

「それでは亨宝を呼ぶでご坐り やつて來たの 変見物の 式士が作品を応 それを、打捨て人 上げた。 神山は、 であた。

五二 三一人三 ーニニ六

Ħ.

百

リナリハジメテ、リナリハジメテ、

4

曜

や闘争や怠慢苟合で

安西分省克什克勝族分署の河の上流舊名經棚縣現在興河の上流舊名經棚縣現在興

白絣もう着ていゝかきゝに來

藻掻けば

と扉はた

にいかれぬ

五体戦き爲す術を

定府を設定せし

日

日 柳

壇

か涙は瞼を

同

明城と呼ばる現在寧城縣の定府を設定せし以來通稱大して、遼朝隆盛の頃中京大して、遼朝隆盛の頃中京大

當り興安嶺山脈の西麓に位の南方兩地間交通の要衝にの南方兩地間交通の要衝にアルシャン 西北方、海拉爾アルシャン 関境四方案倫の

だだつ子を虫のせいだときめ迎へれば白線帽の大男

云ひ得るも、

総下が萬物一体を確信 の基礎とすと仰せら

戀ゴ

二朗

指導大滿洲國体育

高宮 盛逸 高宮 盛逸 高高宮 盛逸 (東京より) (瀬 新希 涓 子 オ 木体操

六二〇

六、〇〇 次

(東京より) カジ番組

ン

同

六

聞

新

※ 上 長白山麓にして臨江 際より無松縣に通ずる道路 の東方に在り其他長白の首 峰四圏に敷ケ所あり

浮勵し

寧城攻擊

傷し此處に療養せ

きを持つて來てくれ 「もう御川崎で御座いまするか

しに呼び呼に というので、お 85

神山へと向つた。」

苦味は先をお念ぎになる。 は先刻の女中であった。

れたのは何何用で

を開き、お座覧へ開出ますのをおり、 ないのではおざるが、 合の肢子戸が失いにおざるが、 合の肢子戸のをおりますのはおざるが、 合の肢子戸のをおりますのは、 根本等は さら云ふと、此方 結核初期の發熱は普通 通か、食物に獲つて使及して來る特別となる事も非常に多いのです。 ここの細菌は一般に、腸質を含 ここの細菌は一般に、腸質を含 ここの細菌は一般に、腸質を含 ここの細菌は一般に、腸質を含 ここの細菌は一般に、腸質を含 におって無害のものとなる許り になる。

との事、ださはしたものよなののをです。 との事、ださはしたものよ若し との事、ださはしたものよ若し との事、ださはしたものよ若し を実診ではないかと駆立病院を を対してすが、(中略) 経数安原と なく想は何ずす、(中略) 経数安原と なく想は何ずす、(中略) 経数安原と よといよのです。院長は大分胞 はなくればのです。院長は大分胞 になくれば何ずも三十七度前後と はないかといるをした。 の対してものなもなるとい になくれば何で、院長は大分胞 になくれば何です。「中略」を を がしているまなるとい になってもなるとい になってもなるとい になってもなるとい になってもない。 の会際は になって、 (前路) 数年前より何かと身體 (前路) 数年前より何かと身體 が新年登場はり数が出、氣分も が新年登場はり数が出、氣分も が新年登場はり数が出、氣分も

外科、性病科

同仁醫院

電出町 三丁目

◎御一報次第見積に参上可仕候◎

工電營 業場話所

苦惱の肺病が 輕 (宮崎) す 3

大田 ス 10日 (日本) | 大量水の濾過 | 大量水の濾過 | 大田 ス 10日 (日本) | 大田 ス 10日 (日

●診療時間●

日曜祭日午前中

茶代を加へてその制定をすまして二人が立ち上がりかけると、 急 見

し、特に対応にきまつて高まるの。毒素が全身に環る州七、八度の間を住復して持續がに集戦な結核菌の歴生した 有熱型、神經型、腎臟型、 感胃型、胃腸型、心臓型、貧血型

發疹型

「肺結核が治療し易い疾患である。 「肺結核が治療し易い疾患である。 では、便なという。 では、便なという。 では、便などのない所である。 では、変質な療養療が治療し易い疾患である。 が、其事は殊に早期に發見され、 が、其事は水に早期に發見され、 を合に事實であって、如何なる名。 ないのである。 が、其事は水に早期に發見され、 という。 はないのである。 が、其事は水に早期に発見され、 という。 はないのである。 はないのである。 が、其事は水に早期に発見され、 という。 はないのである。 はないのである。 が、其事は水に早期に発見され、 という。 という。 はないのである。 はないのでないのでないのでないのでないのでないのでない。 はないのでないのでないのでないのでないのでないのでないのでないのでない。 はないのでないのでないのでないのでないのでないのでないのでないのでないのでない。 はないのでないのでないのでないのでないのでないのでない。 はないのでないのでないのでないのでないのでないのでない。 はないのでないのでないのでないのでないのでないのでない。 はないのでないのでないのでないのでないのでないのでない。 はないのでないのでないのでないのでないのでないのでない。 はないのでないのでないのでないのでない。 はないのでないのでないのでない。 はないのでない。 はないのでない。 はないのでない。 はないのでないのでないでない。 はないでないのでない。 いない。 を述べてあられます通り、 と述べてあられます通り、 と述べてあられます通り、

早期の正しい療養

人が自身でも相當に 麻鞭で、特に素が結核を早期に發見するとと、虚が結核を早期に發見するとと、ないない。 最近素人にも気付く八つの型のあげ機を遊する様になるのですが、 | 彰は一層困難である為に、治療の人が自身でそれを自覺するといふ 敵とも味方ともなる

も、総核の難ひがあります。 も、総核の難ひがあります。 を 本きが続く標な人 略加しなくても然に血

腸。

内。

類にて來る事が願々です。 質血型 別に費値を起す様な心ない。本語のと他也が思い人は結びない。本語の

一心醫型 動物が高く問題さの健かるのは、侵職領別が高く問題さの健か高く問題さの健かが高く問題さの健かいない。 大会 一般 でいかと 無視です。

專門店 能本屋

襖 製 造 部

アラインド工事部

各種材料部

公益商會支店

ドライクリーニングの 御下命下さい!! ●急告

ニング

迅速叮嚀

新京疊店 鵜殿新十郎 東一條通消防隊横

表替裏替

●立消へせぬ ●値段が安い

新京代理店 治 和

ある胃腸の機能を恢復させる

,湖用+ラー

●ガスの出ない ●火持の良い。

取扱懇切の保険は信用厚く

電話五台

正直7佰

室町 藤 村 高 店

で自然に下熱する、一般極にもよく、結核

で自然に下触する、感激も脱されて自然に下触する、感激も脱まるといふ様な効果を置して、どの健かにも拡張されます。 たは「経想わかもと」が、サカラは「経想わかもと」が、サカラになった。

日

でも宜敷うご

京

亲行





認話工 74

豐富着荷陳列 人村岡吳服店



硝



全支 那 赤形

煉黑

瓦瓦

代理店



(前花閉)三ノ三町祝京新

內店質屋浦三

番五七七三話電

電話三一一一番

